

第68期

中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	6
中間連結財務諸表	
中間連結貸借対照表	7
中間連結損益計算書	8
中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
中間個別財務諸表（要約）	10
会社の概要	11
株式の状況	11
役員	11
株主メモ	12

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、当社第68期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済が各国の実施した景気刺激策などの効果により未曾有の危機を脱しつつあるなか、輸出や生産の一部に改善の兆しが現れ、企業の景況感にも持ち直しの動きがみられるようになりました。しかし、一方では、雇用情勢が一段と厳しさを増すなかで個人消費の低迷が続き、また、設備投資にも慎重な姿勢が目立つなど、景気の先行きはなお不透明な状況であります。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましても、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、原材料価格は依然として高い水準にあり、さらに、消費者の節約志向により価格競争が激化するなど、厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保や品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様のニーズに応えられる高付加価値商品の開発ならびに積極的な販売促進活動を進めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、厳しい経営環境のもと、前年同期に比べ6.0%減の9,858百万円となりました。営業利益につきましては、商品規格の見直しなど高騰した原材料価格への対応やコスト削減ならびに事業活動の効率化などにより、前年同期に比べおよそ3.2倍の301百万円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ5.9%増の576百万円となり、中間純利益につきましては、前年同期に比べ20.6%増の460百万円となりました。

なお、当社グループの業績は、売上高に占める割合の大きい食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強く、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となっております。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当中間連結会計期間におきましては、主力の菓子部門は積極的な販売促進活動を展開し拡売に努めましたものの、減収となりました。チョコレート類は、価格競争激化のなか苦戦を強いられ減収となりました。主力ブランドの「アルファベットチョコレート」は前年同期と同水準で推移しましたが、「ナッツチョコレートコレク

ション」「マカダミアチョコレート」などのファミリータイプの商品が売上を減少させました。一方、「ぷくぷくたい」をはじめ各種のエアインチョコレートは増収となりました。キャンディ類は、受託商品の売上が減少しましたが、小袋商品など自社商品が売上を伸ばし増収となりました。

粉末飲料部門は、ラインアップされた基幹商品を中心として拡売に取り組みましたが、厳しい販売競争のなか主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などの売上が減少して、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、受託商品の売上が大きく落ち込み、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、積極的な営業活動を進めた結果、主力のバウムクーヘン類などが好調に推移して増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ3.8%減の8,563百万円となりましたが、前連結会計年度に実施した商品の内容量の見直しを伴う規格変更に加え、コスト削減や効率アップなどの対策を講じた結果、営業利益は447百万円となりました。なお、前年同期は1百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としているチーズ用凝乳酵素「レンネット」や脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上が、急激に進んだ円高や世界的な不況による需要の低迷が影響し減収となりました。このような状況下ではありましたが、「レンネット」の第2世代品「MRS」は、海外市場への精力的な販売促進活動の展開により売上を伸ばしました。

薬品部門につきましては、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬である「デキストラン・マグネタイト」や、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上が減少したことにより、大幅な減収となりました。このようななか、飼料添加物「ヘルシーフレンド」の売上は微増となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ20.6%減の1,092百万円となり、営業利益は前年同期に比べ77.4%減の72百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、平成22年4月に稼動する予定であります八王子工場内の「レンネット」製造設備の増設に伴う賃貸倉庫の縮小

などにより、売上高は前年同期に比べ5.4%減の202百万円となり、営業利益は前年同期に比べ5.9%減の100百万円となりました。

このような状況下で、当社グループといたしましては収益力の一層の向上を図るべく、お客様視点の商品開発、主力ブランドを軸とした商品戦略の強化ならびに積極的な営業活動に取り組むとともに、引き続きコストの削減および品質管理の向上に邁進する所存であります。

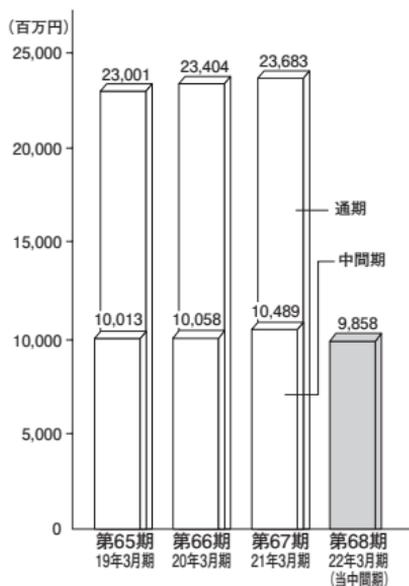
株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

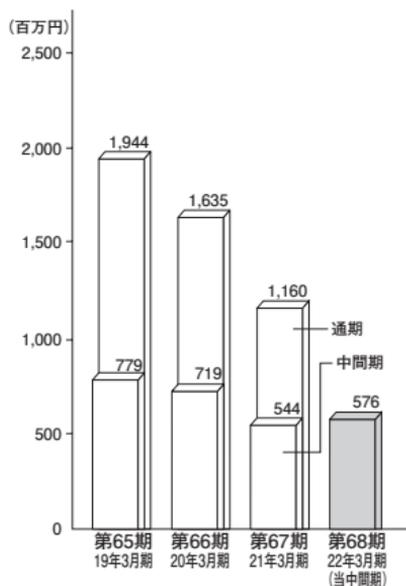
代表取締役社長 水 谷 彰 宏

連結業績の推移

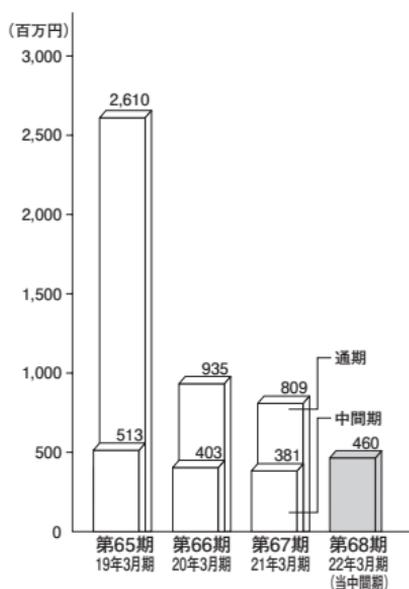
連結売上高



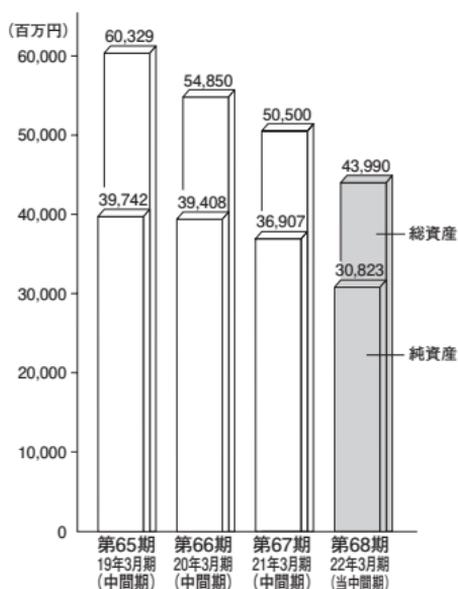
連結経常利益



連結中間純利益



連結総資産／連結純資産



(注) 連結子会社3社

株式会社エースバーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在) (単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	8,532	流 動 負 債	8,529
現金及び預金	1,666	支払手形及び買掛金	2,214
受取手形及び売掛金	3,724	短期借入金	4,200
有 価 証 券	398	未払法人税等	145
商品及び製品	1,110	返品調整引当金	5
仕 掛 品	352	そ の 他	1,964
原材料及び貯蔵品	1,066	固 定 負 債	4,636
そ の 他	239	繰延税金負債	2,431
貸倒引当金	△26	退職給付引当金	2,132
固 定 資 産	35,457	役員退職慰労引当金	13
有形固定資産	11,135	そ の 他	58
無形固定資産	84	負 債 合 計	13,166
投資その他の資産	24,237	(純 資 産 の 部)	
投資有価証券	23,425	株 主 資 本	25,628
そ の 他	874	資 本 金	1,313
貸倒引当金	△63	資 本 剰 余 金	76
資 産 合 計	43,990	利 益 剰 余 金	32,771
		自 己 株 式	△8,532
		評価・換算差額等	5,184
		その他有価証券評価差額金	5,184
		新株予約権	9
		純 資 産 合 計	30,823
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	43,990

中間連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	9,858
売 上 原 価	6,253
売 上 総 利 益	3,605
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,303
営 業 利 益	301
営 業 外 収 益	358
営 業 外 費 用	83
経 常 利 益	576
特 別 利 益	87
特 別 損 失	0
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	664
法 人 税 等	203
中 間 純 利 益	460

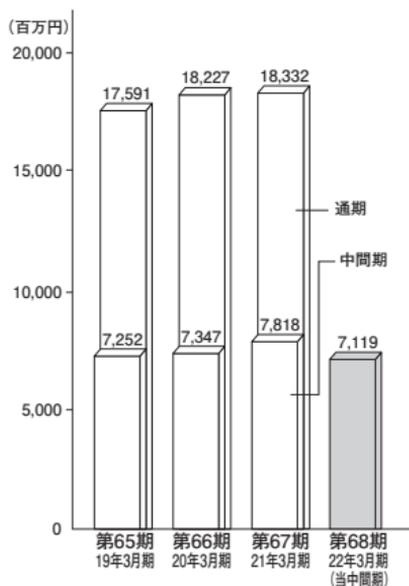
(注) 1株当たり中間純利益 27円40銭

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) (単位：百万円)

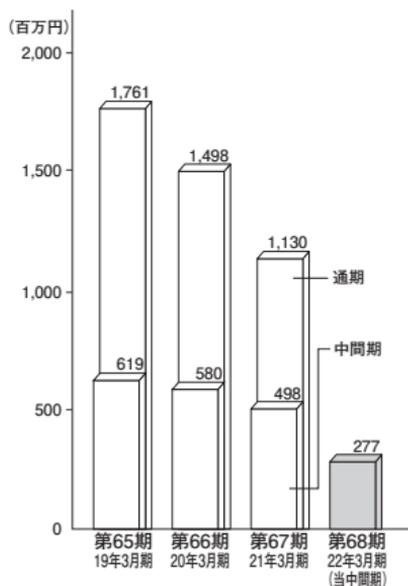
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,151
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△870
現金及び現金同等物の期首残高	2,127
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,256

個別業績の推移

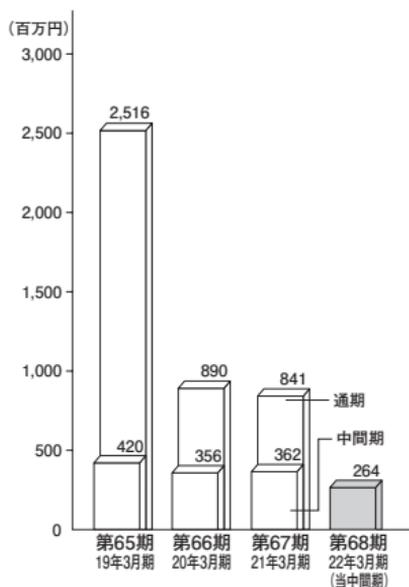
売上高



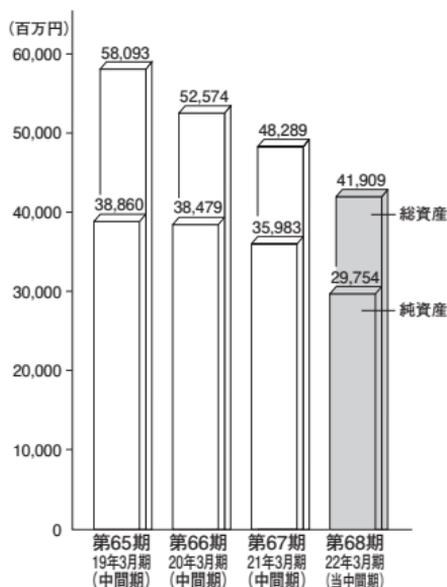
経常利益



中間純利益



総資産／純資産



中間個別財務諸表（要約）

中間貸借対照表

（平成21年9月30日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	6,909
固定資産	34,999
有形固定資産	10,731
無形固定資産	82
投資その他の資産	24,186
資産合計	41,909
（負債の部）	
流動負債	7,614
固定負債	4,540
負債合計	12,155
（純資産の部）	
株主資本	24,549
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	31,692
自己株式	△8,532
評価・換算差額等	5,194
新株予約権	9
純資産合計	29,754
負債・純資産合計	41,909

中間損益計算書

（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	7,119
売上原価	4,368
売上総利益	2,750
販売費及び一般管理費	2,701
営業利益	49
営業外収益	308
営業外費用	80
経常利益	277
特別利益	87
特別損失	0
税引前中間純利益	364
法人税等	99
中間純利益	264

（注）1株当たり中間純利益 15円75銭

会社の概要 (平成21年9月30日現在)

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	366名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・八王子・福岡

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	7,334名

役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	酒井功
取締役	半田雅晃
取締役	小島寛志
取締役	市川秀夫
取締役	齋田峰夫
常勤監査役	吉野俊彦
監査役	太田賢一
監査役	寺澤弘

- (注) 1. 取締役齋田峰夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役太田賢一氏および寺澤弘氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

中間配当制度 行っておりません。

公告の方法 電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 名古屋・東京

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させていただきます。

- 100株以上 1,000株未満 … 小売価格 1,500円相当商品
- 1,000株以上 5,000株未満 … 小売価格 3,000円相当商品
- 5,000株以上 ……………… 小売価格 5,000円相当商品

個性豊かに きわだつおいしさ

デザートチョコレート



スイーツのような贅沢なチョコレート

人気の高い定番スイーツを、チョコレートで表現しました。サクッとした食感と、スイーツのおいしさが鮮やかに広がるとっても贅沢な味わいです。

ロイヤルミルクティー



北海道産 生クリーム使用

香り豊かな濃いめの紅茶をミルクでやさしくつつみこんだロイヤルミルクティーです。

meito